



エメラルド通信

【発行】
令和3年 夏

【発行者】
エメラルドサポート

第24号 暑い夏を乗り越えよう！！

浦安市では、まん延防止等重点措置が延長されることとなり、なかなか落ち着きを取り戻せない状態が続いております。

そんな中でも、昨年より延期されていたオリンピックが開幕されました。日本での夏季オリンピックの開催は1964年以来57年ぶりとなります。選手の皆様が活躍し1つでも多くのメダルを取ってコロナ禍の日本を元氣付けてほしいと思います。

エメラルドサポートのスタッフ一同も負けずに皆様を元氣付けたいと思います。

さて、今回のエメラルド通信は、ワクチン接種・日中一時支援・窓口休業のお知らせ等をお届けいたします。是非、お手に取ってご覧ください。



訪問介護サービス従事者の
新型コロナウイルスの接種が
始まりました

エメラルドサポートでは浦安市が実施する訪問介護サービス従事者の新型コロナウイルスワクチン集団接種を7月18日から受けることが可能になりました。

皆様に安心して介護サービスを受けていただけるよう、エメラルドサポートのスタッフ全員がワクチン接種を行います。

今後も訪問スタッフのマスク着用や訪問時の検温・手洗い・うがい・手指消毒などの感染防止対策の徹底に努めてまいります。

現段階での日本のワクチン接種率は1回目接種率が28.23%、2回目接種率が16.88%となっています。
千葉県では接種完了率が15.15%で、47都道府県中41位となっています。(令和3年7月19日現在)



窓口休業のお知らせ



お盆期間中も窓口営業は通常通りです。予定の変更はお早めにご連絡をお願いします。

【訪問介護部】

047-351-4140

【相談支援部】

047-351-4155

【日中一時支援】

047-702-9808

《 受付時間 》 平日 9:00~17:00

エメラルドサポート日中一時支援 Q&A

エメラルドでは、日頃より、多くの視覚に障がいをお持ちの方がサービスをご利用になられています。

利用者様から、

- ・「一人で家にいても人と話すチャンスがなく、入ってくる情報も限られて面白くない。」
- ・「もっと体を動かしたい。」
- ・「これから迎えるデジタル時代、若い人や目が見えている人のように、スマホを使って日常生活を充実したい。」
- ・「高齢になり、人生の終わりを自分の考えどおりに、安心して終わるにはどうしたらいいか。」

など様々な声が届きます。

こうした利用者様のご意見ご要望から本年4月12日より、エメラルドサポート日中一時支援サービスをスタートいたしました。

現在、平均年齢77歳、元気な方たちが集まって活動しています。

今号までの内容は次の通りです。

【楽しく学ぼう！教養講座1 ＊ 視覚障がい者を取り巻く今のIT環境 全4回】

講師：視覚障がい者総合支援センターちば IT支援担当 御園政光先生

社会福祉法人茜 職業指導員 磯部淳先生

- ① 現時点でのIT環境と視覚障がい者が活用する際の問題
- ② 様々な音声化ソフト
- ③ スマートフォンの選び方(視覚障がい者が利用する上でのアンドロイド、 아이폰、ガラホの長所・短所)
- ④ スマートフォンをより便利に利用するためのアプリと周辺機器

【楽しく学ぼう！教養講座2 ＊ 終活と相続 全3回】

講師：一般社団法人シニアライフ相談窓口 代表 堀口実先生、他4名の先生

ファイナンシャルプランナー、宅地建物取引士、相続診断士

- ① 「犬神家の人々」に見る相続の問題点
- ② 「紀州のドンファン元妻の相続争い」から学ぶこと
- ③ 相続放棄をしてももらえる財産
- ④ 遺産が不動産しかない生前対策は必要なのか

全スタッフと利用者様、入室時にコロナ感染予防対策後にソーシャルディスタンスをもって着席し、講座の前には、各自の今日の装いや最近の・出来事など、情報交換を楽しんでいます。

実際に日中一時支援での活動や感想をスタッフの加藤さんにインタビューいたしました。

Q. エメラルドの日中一時ではどんなことをしているのですか？

A. 内容はZOOMを使いオンラインでの「IT利活用のセミナー」や「終活についての講話」の開催です。もちろんお話を聞くだけではなく、質疑応答や意見交換も行いました。なかなか専門家に相談や疑問を直に聞くことはないので、みなさん積極的に発言され、盛り上がりました。

また、あらゆる角度からの質問で、気づくことも多くありました。

そのほかには、手話歌の「切手のないおくりもの」を滝本香奈子さんのピアノに合わせて少しずつ覚え歌えるようになりました。コロナが終息したら、大きな声を出して歌いたいと思います。



スマートフォンを持ってフェイスタイムを使用しているところ

Q. 印象に残っている話は何でしょうか？

A. 全てにおいて興味のあるお話だったので、選ぶのは難しいですが。

6月と7月にあった笑顔相続サロン日本橋の堀口実先生と各分野の先生方の「終活についての講話」です。講座の導入部で堀口先生がハーブまで奏でていただいて驚きました。



パソコンを囲んで ZOOM で堀口実先生とお話しをしているところ

各講座のタイトルを聞いただけでも期待してしまいますよね。お話のまとめは、「相続争いになる前に遺言は書いておいた方がいいですよ」とのことでした。高齢の視覚障がい者にとって必要な講座で楽しく学んでいます。

Q. 今後、どのような活動を予定していますか？

A. 一番は、ご利用者様のニーズに合わせて様々な活動を予定しています。運動も兼ねて舞浜駅や新浦安駅、浦安駅近辺のショッピング巡り。映画鑑賞や音楽鑑賞。室内活動として、ストレッチやゲームなど。外出やオンラインを活用し専門家との交流や人と社会とのつながりが広がっていくようなことを予定しています。（※外出時は、移動支援サービスでの対応となります）

詳しい活動内容や、今後のスケジュールについては下記にお問い合わせください。

日中一時支援 047-702-9808（平日9時～16時）



新規スタッフ紹介

訪問介護部＊大貴 由加里さん

はじめまして。5月からエメラルドサポートで働かせていただくことになりました、大貴由加里（おおぬきゆかり）と申します。訪問介護の経験はなく戸惑うこともあります。利用者さんの笑顔や優しい言葉に励まさせていただきながら明るく元気に頑張っています。今後ともよろしくお願いたします。

IT スクール部＊笠井 弘さん

キッズプログラミング教室のインストラクターは初めてですが、今までの経験を生かしたいなと思っています。

総務部＊高崎 莉以さん

ヘルパーの皆様がご利用者様のもとへ安心してお伺いできるようにサポートさせていただきます。お気軽にお問い合わせください♪



エメラルドの光

【誰か誰だか・・・??!。】

「こんばんは～。」「いらっしゃ～い。」年に数回行われる我が家のイベントに娘や孫が連れ立ってくる。先ずはおじいちゃんの部屋へ。彼女たちは小さいころから勉強を教えられたり、食事を作って食べさせてくれたり遊んでくれるおじいちゃんが好き。ひとしきりおじいちゃんと話し終わって私のそばへ。「お婆ちゃんの間こんなことがあったの。（あんなことがあったの・・・）」話をしてくれるが、小さい頃は孫や娘の声でそれぞれ誰が話しているかが分かっていたが、それはせいぜい中学生のころまで。高校生以上になるともう誰か誰だか声だけでは聞き分けができなくなった。孫たちの声は母親である娘そっくりの声。「ねえ、今誰がしゃべっていたの?」「佐名だよ。」三人が佐名の声で応える。また、母親の声色で話し方をまねて孫たち二人がいろんな話をしてくる。私が「ねえ、だれ?誰なの?今話してるのは・・・」私も皆も大笑いしながら楽しくお喋りは展開される。

そう言えば、私も年頃になってきたころ、「尚美ちゃんの声や話し方はお母さんにそっくりね。」と言われていたのを思い出す。よちよち歩きだった孫たち、活発だった小中学生のころ、そして少女となった今、訪れてくれる回数はだんだん少なくなった。やがて巣立っていったとき、母親のところを訪れるのが精いっぱい私たちおじいちゃんおばあちゃんのところまで来てくれるだろうか。にぎやかな笑い声を耳にふと寂しさがよぎった。

エメラルドサポート株式会社 代表取締役 佐藤 尚美

